

特集

ぱれっとプロジェクト始動!

地域に根ざすための拠点づくり

ぱれっとが描く未来像 ②

地域に根ざすための拠点づくりがいよいよスタートしました。東京都と渋谷区から助成金を受け、グループホーム新設とおかし屋ぱれっと移転、新生たまり場と、総工費1億7千万円の壮大な事業です。みなさんと進めて来た中期計画が実現に向け今始動します。

今年2月、渋谷区から氷川敬老館を閉鎖しその跡地にグループホームを建設するために事業者を募集するという情報が公開され、5月にNPO法人ぱれっとが正式に建設事業者に決定しました。実質渋谷区からの土地の無償提供と、補助金1億円が付きましました。完成は来春、1年でやり遂げる事業であること、解体から建設まで我々が行なわなければなりません。

6月中旬に近隣住民の方への挨拶回りも済み、いよいよ7月23日から解体工事が始まりましました。工事業者は入札を経て決定しました。

1. 資金調達

渋谷区からの助成金に加え、東京都にもグループホーム新設のための助成を申請し28,853,000円が決定しました。約6,000万円強の不足金は我々独自で捻出しなくてはなりません。資金調達方法として、寄付金の目標額1,000万円以外に、ぱれっととつながりのある方々から無利子で借金をする形での債権(私募債)を計画しました。目標額は1,200万円、それ以外の資金調達として、地元の西武信用金庫様から低金利で融資を受けられる「チェンジ」を利用する形で資金計画を立てました。

NPO やソーシャルビジネスなど、社会や地域の課題解決にチャレンジする組織を「資金面」と「経営面」で応援する「西

武ソーシャルビジネス成長応援融資『CHANGE(チェンジ)』、金利1%で融資を受けるため、新規事業における3年後の事業目標並びにその課題解決に向けた事業計画と予算を建てるなど、社会変革のインパクトのある応募書類の提出と面接等厳しい審査を経て、融資を受けられることになりました。

8月18日現在、私募債と寄付金合わせて1,391万円のご協力、ご支援が集まっています。皆様には深く感謝申し上げます。不足が予想される約4,000万円はチェンジからの長期借入れを予定しています。私募債は10年、チェンジの融資は7年と返済期限が決まっています。この間での返済計画も立てなくてはなりません。

2. 店舗デザインと空間利用の仕方

おかし屋ぱれっと移転後の新たな店舗利用を模索しています。お客様が商品を購入し店内でも飲食できるようイートインが可能なデザインを検討中です。プロのデザイナーに入ってもらい、お店の外観から内装まで手掛けてもらう考えています。同時に、グループホームなど建物本体も店舗と調和が取れるよう外観を考えます。

店舗内装費用はデザイン料も含め、かなりかかると覚悟しています。その資金調達としては、助成金の申請を考えています。更なる来客を見込む形での売り上げ増を

目指し、通所員の給与UPがねらいです。彼らの労働条件を改善する名目での助成金申請を検討中です。

おかし屋ぱれっとの店舗空間をどのように生かすかも検討に入っています。ぱれっとの新規プロジェクトの理念は・・・

人間関係が希薄になりつつある地域の中で、誰もがつながり、新しい生き方を生み出せる拠点づくり

- * 誰もが : 障がいのあるなしに関わらず、高齢者や外国人も含めた地域の人々。
- * 新しい生き方 : 多様な人とのつながりから自分らしい生き方と選択肢の創造。
- * 拠点づくり : 地域社会とつながれる場・雇用拡大や職域開発・多様化するニーズに対応できる拠点づくり

この拠点づくりに向けて、「ぱれっとが地域に根ざす」ということはどういったことなのかを、改めて10月24日のボランティア・理事・ぱれっと親の会・スタッフ合同勉強会で確認作業を行ないます。その中から、おかし屋ぱれっとの店舗スペースをどのように生かしていくか、理念を柱に皆さんで考えていきます。

3. グループホーム

渋谷区内のグループホーム需要は非常に高く、親の高齢化に伴い本人の将来の生活に不安を抱える親が増え、特に障害の重い方の要望が強くなってきています。現在のえびす・ぱれっとホームはバリアフリーには対応しておらず、新たに新設されるグループホーム(GH)に期待が高まっています。新設される木造3階建ての中で、GHは2階の4部屋と3階3部屋の計7部屋、3

階の1部屋をショートステイとして計画しています。ショートステイの設置は、「自立に向けて段階的に暮らしを体験できるところがほしい」という親の強い想いをセミナーや意見交換の場で伺い決定しました。体験的に利用することで、本人の自立生活への意識を高めていく目的があります。

今回、土地の無償提供と1億円の補助金があった背景には、多くの福祉団体や親の会からの数年にわたる働きかけがありました。その想いに渋谷区が答えてくれた形ですから、GHへの期待も当然高まりますし、それに応える私たちもできる限り良いものを作りたいと想いが重なります。設計段階では、現場の経験を反映させるだけでなく、他の施設を見学に行きイメージを固めていきました。何度も繰り返し図面を引き直し、東京都へも足を運びながら、バリアフリー及び防犯防災設備に関しては万全を期した設計としました。利用者の安心安全の確保はもちろん、年齢を重ねても住み続けられる、そんなGHを目指しています。

新設GHに対し、渋谷区からは重度の障害がいがある方の利用に配慮するようにとの話しがありました。具体的には、障害支援区分4から6の方の受け入れを可能にするということです。入居対象者は渋谷区民であること、基本的に渋谷区で入居者の選定を行なうという条件が契約に盛り込まれています。また、障害者総合支援法の基本的考えでは、同じ建物内で職・住が一体となることを厳しく制限されています。通勤が無くなることで生活圏が非常に狭められることが大きな理由です。このような理由から、おかし屋ぱれっとに通う通所員は、ショートステイの利用は可能ですが、残念ながら新しいGHは利用できないこととなります。

7月に『渋谷手をつなぐ親の会』の要望で意見交換の場が設置されました。約50名の方が参加され、新しいGH構想をお伝えする機会となっただけでなく、改めて親の思いをお聞きすることができました。中でも、「親の高齢化」「作業所への通勤手段が無い」「GH内での男女の区分け」「重度障がい者の受入」等は切実な課題として上がっており、区内の様々な福祉サービスとの連携や、今後もニーズに沿ったGHの増設の必要性、渋谷の暮らしの向上に向けて話し合いを重ねていくことをお互いに確認しました。

4. 厳しいスタッフの確保

どの福祉の現場でもスタッフの確保は年々厳しくなっているようです。特にGHは顕著で、彼らと共に生活をしながら暮らしをサポートする、常に見守りが必要な現場においては、なかなかスタッフの応募がありません。現在のえびす・ぱれっとホームでも求人を出していた時期は、思うような人材が確保できない厳しい面がありました。常勤スタッフの応募が少ない状況をどう打開していくかが大きな課題です。特に重度の方の利用が多くなれば、寄り添うスタッフの人数も必要とされます。夜の安心安全を確保するためにも夜勤スタッフの人数も見込まなくてはなりません。来年の事業開始までにスタッフの確保並びに教育を計画的に進めなければなりません。

5. 工期の延長

渋谷区からは来年3月竣工で契約を取り交わしましたが、施工業者からの見積もりでは、最低8か月はかかり、来年6月完了で見通しを立てた方がいいとの助言を受けています。建設に向け、解体と同様な

形で入札作業を予定しています。しかし来年3月完成で入札のアナウンスを行なうと、あまりにも工期が短いということで、入札に参加する業者がいない可能性が出てきました。入札が不調に終わると、最終的に工期の遅れにもつながります。渋谷区に相談に伺い、工期の延長を納得してもらい、竣工予定は来年6月となりました。

竣工が遅れる分だけ事業開始も伸びます。国からの介護報酬も入って来る時期がずれ込み、どのタイミングで新規スタッフの公募をかけ教育をしていけばいいのか、判断に迷うところです。人材確保も難しい状況と、運営の安定をどう図っていくか、資金調達・資金計画の見立てが続きます。

5. 今後の見通し

おかし屋ぱれっとと法人事務所が借りている恵比寿イーストビルの賃借料は、年間1,400万円以上かかっています。渋谷区恵比寿という土地の高い都会のど真ん中で運営してきたのも、自助努力以外の何物でもありません。

ぱれっとも設立から32年、事業の拡大に伴い抱えるスタッフも増えました。法人全体で年間1億円規模のお金が動いています。社会福祉法人と比べれば小さな組織かもしれませんが、NPO法人として常勤スタッフを11名、非常勤スタッフ3名、来年度からスタートする新規プロジェクト推進に向け、法人全体で更に常勤スタッフ6名増えます。GH運営には更に夜勤専門スタッフの雇用も視野に入れなければなりません。

(認定NPO法人ぱれっと理事長 相馬宏昭)
(えびす・ぱれっとホーム施設長 菅原睦子)

【新規プロジェクト ご支援のお願い】

ぱれっとが運営する新しいグループホーム・
作業所建設費用のご寄付をお願いしております。

寄付目標金額 1000万円!

2015年8月末日現在...

¥2,175,000-

ありがとうございます!

まだまだ寄付のお願いをしております!!よろしくお願ひします!!

【お問い合わせは...】 認定 NPO 法人ぱれっと事務局 担当南山

03-5766-7302 Palette@npo-palette.or.jp までご遠慮なく!

—寄付の方法—

※ご寄付の際にはなるべく「郵便振替」をご利用ください。

※銀行振込・クレジットカード決済 (PayPal) ・携帯電話 (ソフトバンクがざして募金) もご利用いただけます。詳しくは事務局長 南山までお気軽にお問い合わせください。なお、ぱれっとは認定 NPO 法人のため、皆様のご寄付は税制優遇が受けられます。ぜひご協力をお願いいたします。

【振込口座】

ゆうちょ銀行 振替口座 00110-7-18294

名義人：特定非営利活動法人ぱれっと

備考欄に「ぱれっと新規事業寄付金として」とご記入下さい。

